

「尿中 L 型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては本年 6 月より測定試薬を CLEIA 法による試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内致します。本変更により検出感度が向上するとともに、検査所要日数の短縮が可能になりました。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬 具

記

対象項目 / 変更内容

● 【2132】尿中 L 型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)

変更内容	新	旧
検査方法	CLEIA [富士レビオ]	EIA [シミックホールディングス]
保存方法	冷蔵	凍結(-20℃以下)
報告上限	濃度 200,000 ng/mL 以上	濃度 ∞
報告下限	濃度 0.50 ng/mL 未満	濃度 1.5 ng/mL 未満
報告形態	濃度 小数 2 位、有効 5 桁	濃度 小数 1 位、有効 3 桁
所要日数	3~5 日	3~7 日
備考	クレアチニン補正值($\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$)および濃度 (ng/mL)をご報告致します。 濃度が 0.50ng/mL 未満の場合は、 <u>0.50ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告致します。	クレアチニン補正值($\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$)および濃度 (ng/mL)をご報告致します。 濃度が 1.5ng/mL 未満の場合は、 <u>1.5ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告致します。

※ 検体量・基準値等の検査要項に変更はございません。

変更期日

● 平成28年6月1日(水) 受付日分より

新旧二法の相関

